

兵庫県下ではどちらかと言えば山地性のようで南側にはほとんど見られなく県中央部から北に分布している。成虫は5, 6月頃割合多く得られる。音水に産するものは黒味がかった個体が比較的多い。

産地：飾磨郡雪彦山 (lex.,14—VIII—1957)。多可郡三谷 (lex.,8—VI—1975), 鳥羽 (4exs., 1—VI—1975)。神崎郡大河内町川上 (lex.,4—VI—1977)。宍粟郡福知溪谷 (3exs., 20—VI—1976), 音水 (lex.,31—V—1970, 5exs., 11—VI—1972, lex.,13—V—1973, lex.,3—VI—1975, M. Yuma leg.), 赤西 (lex.,27—V—1979)。水上郡神楽, 小金岳〔山本, 1958〕。養父郡氷ノ山 (lex.,22—V—1954, lex.,25—VII—1955)〔高橋, 1975〕。美方郡扇の山〔湯浅, 1960., 辻・岸田, 1972〕。

9. *Nipponovalgus angusticollis* (Waterhouse, 1875)

ヒラタハナムグリ

Waterhouse氏により日本国中(対馬を含む)に最も普通にいる種として新種記載された(タイプの指定は無い。Valgus属)(Trans. Ent. Soc. London, 1875, p. 115)。1887年Lewis氏は1880年の3月13日に松の径4インチばかりの全く腐った丸太を壊した所50exs.程がころがり出た。この季節以後はほとんど花上で得られる。特にrape-fieldsとかイヌバラ上に多いと記録された(Ann. Mag. Nat. Hist. (5)XIX, 1887, p. 201)。沢田玄正博士は前脛節は7歯を有し、前胸背は上翅よりも余り巾の狭くない点等を特徴に *Nipponovalgus* 属を創設それにふくめられた(日本の甲虫, 4巻, 1号, p. 1—14, pl. 1, 1941)。

兵庫県下でも極めて普通種である。詳しい生態の報告は無いようであるが松の樹皮下にかたまっているのを採集出来たりする。一般に針葉樹の朽ち木の中にあることが多い。幼虫もそれ等の木の中で生活しているようである。従って♀の採集は割合困難である。♀の上翅は短く、中・後跗節は♂では脛節の2倍、♀では短い。特に後跗節の第1節は♀で第二・三節の和と異同長である。

産地：洲本市安乎町〔堀田, 1959, 1974〕。津名郡津名町大町〔堀田, 1979〕。川辺郡猪名川町上阿古谷, 木間生〔仲田, 1978〕。川西市笹部〔仲田, 1978〕。Hiogo〔Schönfeldt, 1877〕。神戸市御影〔関, 1933〕, 摩耶山〔増田・橋本, 1941〕, 森林植物園(2♂♂, 28—IV—1960), 烏原(2♂♂, 2—VI—1939, 1♂, 5—VI—1939, 1♂, 4—VI—1939, 3♂♂, 22—V—1938, 1♂, 29—IV—1938, 1♂, 4—V—1980, 1♂, 4♀♀, 9—IV—1981), 山の街(1♂, 29—

IV—1957), 箕谷(6♂♂, 9—V—1948), 鉢伏山〔北村, 1937〕, 妙法寺〔鳥居, 1961〕(1♂, 22—II—1979), 藍那(1♀, 5—VI—1978), 舞子(12♂♂, 5—V—1939)。多可郡白山(2♂♂, 3—V—1973), 三谷(1♂, 3—V—1955, 1♂, 24—V—1975, 1♂, 8—VI—1975), 鳥羽(2♂♂, 29—IV—1972, 1♂, 1—VI—1975)。神崎郡大河内町川上(1♂, 15—VIII—1977)。飾磨郡家島〔畑中・辻, 1974〕(1♀, 26—V—1978)。相生市三濃山(3♂♂, 7—V—1972, 1♀, 6—VII—1973, 1♀, 12—V—1974, 1♂, 18—V—1974, 2♂♂, 1—VI—1974)。揖保郡〔大上, 1907〕。佐用郡大撫山(1♀, 25—IV—1976)。宍粟郡福知溪谷(1♀, 3—VI—1975, 2♂♂, 16—VI—1975, M. Yuma leg., 1♀, 20—VI—1976), 音水(1♀, 20—VI—1959, 3♂♂, 10—V—1970, 2♂♂, 31—V—1970, 2♀♀, 11—VI—1972, 1♀, 24—V—1973, 1♂, 3—VI—1975, M. Yuma leg.)。水上郡〔山本, 1958〕。城崎郡城崎(1♂, 17—V—1970), 三川山〔高橋, 1975〕。豊岡市妙楽寺〔高橋, 1975〕。養父郡氷ノ山〔高橋, 1959〕。美方郡扇の山〔湯浅, 1960., 辻・岸田, 1972〕。

以上9種に就いての県下での分布を中心に述べたが日本の本州に分布している種は全部兵庫県にも分布していることがわかる(全種、原色昆虫大図鑑, II, 1963に図説されているので形態の記載は省いてある)。

まだ県下で調べられていない地もあるし分布の充分わからない種もあり生態に就いても不十分な点が多いので調査を続けなければいけないと考えている次第である。

(20—IX—1981)

(S.45: TOSHIRO TAKAHASHI

神戸市

)

村岡町大笹にてコキマダラセセリを採集

広畑政己

1981年7月26日に大笹(北鉢伏山)の標高800m付近で本種の1♀を採集したので報告する。

県下では中北部の段ヶ峯、須賀ノ山、扇ノ山、千ヶ峯、笠形山、栃原、杉ヶ沢などの記録があるが、大笹では初記録のように思われるので報告した。

時期的に遅いということもあるが、個体数は少なくとも他に1頭見かけただけである。

(S.28: MASAMI HIROHATA 姫路市

)